

# 第151回 青森県立図書館協議会 会議結果

## 1 日時・場所

平成24年10月30日(火) 13:30～15:00

青森市荒川字藤戸119-7 青森県立図書館 4階 集会室

## 2 出席者

《協議会委員》 敬称略 8名

山谷 文孝 吉田 珠美 和田 均 南谷 毅 工藤 眞一郎  
生島 美和 竹内 志保 佐藤 譲

《図書館》

川村 進 (図書館長)  
長利 正彦 (図書館副館長) 外9名

## 3 会議の概要

- (1) 図書館長あいさつ
- (2) 議長選出
- (3) 案件

ア 県立図書館及び近代文学館の主要事業の実施状況について

イ ボランティアの活用について

ウ 県立図書館自己評価について

## 委員の主な意見・要望等

- ◆ 県立図書館としてのミッションが県民に分かりやすいようにアピールすることが大事である。事業だけでなく、産業振興等の図書館が行っていることについても、公開・公表が大事である。
- ◆ 県立図書館は、市町村支援、大学図書館や学校図書館の支援、それらのネットワークの部分が非常に大事である。また、市町村との連携のシステムを県民にアピールすることが大事である。
- ◆ 遠隔地返却サービスを青森市民図書館で利用できると返却等が効率的になると思う。
- ◆ 不要な本等を交換することを行っている市立図書館がある。図書館のない市町村でそのようなことができれば住民は助かると思う。
- ◆ 県立図書館で活動しているボランティアの方たちが、そこで発見するボランティアならではのことが生涯学習支援になる。  
ボランティアによる支援者を増やし、さらにいろんな層の利用者を増やしていくことが大事であるので、是非活発に支援してもらいたい。
- ◆ 学校図書館担当者の研修会への参加は、学校の職員にとって1か月に3回学校を空けるのは非常に困難であり、負担である。